

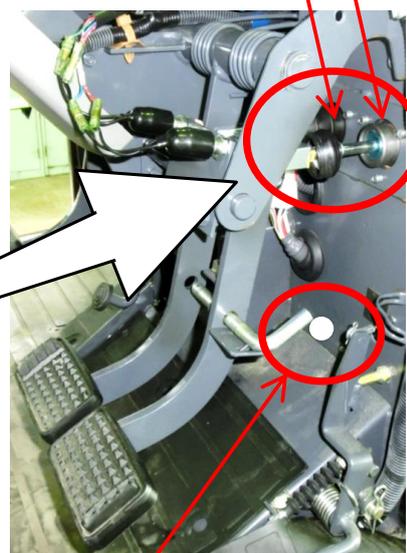
## 改善箇所説明図



※参考:サークリップの変形(市場回収品)

### 基準不適合発生箇所(マスタシリンダ)

※マスタシリンダは、左右のブレーキにそれぞれ1本ずつ存在する。



改善後の識別



クラッチペダル

左ブレーキペダル

右ブレーキペダル

注:  は交換部品を示す。

農耕トラクタの制動装置において、マスタシリンダの設計が不適切なため、ブレーキオイルのエア抜き作業をした際、サークリップにロッドが接触し、サークリップが変形して、ピストンが戻ることができず、ピストンがリリーフポートを塞ぐことがある。そのため、変速機等の熱によりブレーキオイルが膨張した際、配管内の圧力が上昇しブレーキオイルがリリーフポートからリザーバーに戻ることができず、ブレーキが引きずるおそれがある。

### 改善の内容:

全車両、以下の作業を実施する。  
サークリップを確認し、変形している場合は、マスタシリンダを対策品に交換する。変形していない場合は、サークリップを新品に交換のうえ、取付方向を、適切な方向に変更する。

### 改善後の識別:

マスタシリンダ直下(上図)に白丸ペイントを追加する。